

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、調べたことなどがつたわるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く力や、工夫しながら書こうとする。 ・日常的に使われている簡単な単語について、3年生で学習したローマ字を用いて、書いたり読んだりする。 ・基礎・基本の学習を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隔週の家庭学習で実施している「心のスケッチ」の内容を精選し、「自分の意見やその理由」「条件に合わせた物事の説明」など、目的に応じた短文を書く活動に焦点を絞り、継続して日常的に取り組むようにする。 ・朝の会や係活動などを活用し、ローマ字・ことわざなどに関する小問題を児童に提示し、日常的に書いたり読んだりする場を設ける。 ・主体的・対話的で深い学びを意識した単元学習を継続して実施する。特に、読みの単元においては、考えを書いたり友達と話し合ったりする場を必ず取り入れ、考え表現する時間の確保を心がける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取り、正しい知識を用いて、考察したり表現したりする。 ・地図記号、方位などの基礎的な事項を理解する。 ・基礎・基本の学習を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、写真、表など視覚的にわかる資料を提示し、そこから何が読み取れるかを考えさせ、資料を読み取ることができるようにする。 ・身近な話題を取り上げ、地図帳を活用して地図記号や方位を確かめる時間を確保する。 ・「問題に気付く→学習課題を作る→計画を立て、学習問題を追及する→まとめる」という学習の流れが明確にして、定着できるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な加減乗除の意味を理解している（筆算を含む）。 ・「数と計算」に関わる領域を理解し計算する。 ・基礎・基本の学習理解を基に、課題について考察し、数学的な根拠を基に表現する。 ・小数や分数を具体的な事象をもとにして考え、正しく立式し解を導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立解決の時間を確保し、計算問題に繰り返し取り組めるようにする。 ・少数のしくみや加減乗除の計算の仕方を全体で取り組み、確かめる時間を確保する。 ・自分の考えを分かりやすく表す方法として、言葉での説明、式に表す、表にする、図で表すなど多様な表現方法を提示し、習得できるようにしていく。 ・小数や分数であらわされる数をリットル升やピザの模型等で示し、加えたり減じたりする事象や操作を式と対応して扱う活動を行うなどする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果から、結論を導き出す。 ・根拠を示して論理的に表現する。 ・学習したことを日常生活に結び付けて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題→予想→実験計画→結果→考察」の問題解決の流れが明確になるように、板書やノートをまとめられるようにする。 ・自分の考えをまとめる時間を確保し、言葉だけでなく絵、表、図で表現できるようにしていく。 ・身の回りの事象を、働きや時間など関係付けて考えることができるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにする。 ・協力、公正などの態度で運動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入時に、運動の特性やルールなどの大枠の基本的な指導を行う。展開次、実際の活動で児童の主体的な発言を基にルールを変えたり、技能を向上させる方法を指導したりする流れとなるようにする。 ・準備・片付けの手順やルールの改善などで指導や話し合いが必要な際は、学活や体育の中で十分に時間を確保する。

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について、自ら進んで考える。 ・友達と考えを交わしたり、さらに考えを深めてノートに書いたり、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間ごとの教材研究を十分に確保し、児童が主体的に考えようとする発問・展開を準備する。 ・話し合う時間や全体で共有する時間、ノートなどに思いを書きとめる時間を、授業の中で必ず取り入れるようにする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、様々な資料や方法で調べ学習を進め、有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料、新聞、インターネット、インタビューなどの基本的な利用方法や技能の指導を積極的に授業で取りあつかう。(特に、2学期はインターネット、新聞。3学期はインタビュー活動。)
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの基本的な運指を理解して、きれいな音色で演奏する。 ・楽譜の、階名の基本的な読み方を理解して演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの運指が理解できていない児童には、その曲に出てくる全部の音を練習させるのではなく、2音だけ、3音だけというようなスモールステップで練習させるようにする。 ・階名の読み方は、特に器楽教材のときの導入時に指導するようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを深め、最後までこだわりをもって制作する。 ・道具や材料の使い方をいろいろ試しながら、自分の思いを広げ、形にしていく。 ・他者の作品の良いところを感じとり、自分なりの感じ方を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作途中に、新しい材料を紹介する、友達の工夫を紹介するなど、新しい発想につながるような提示をする。 ・各々の児童がもっている発想を対話で引きだし、糸口になるよういくつかの方法を例示する。 ・鑑賞時に、感じたことなどを対話で引きだし一緒に作文したり、例文を示したりする。